

令和6年度 特別委員会活動報告

議会改革特別委員会

今年度の検討課題は①議会基本条例の検証結果の改善について②議会モニター制度について③議員のなり手不足について④議員定数の見直しについて

- ①議会基本条例については、C評価の改善を行いました。第18条、研修や研究で議員の資質を高める。第20条、議員研修の評価改善では、議員研修の充実と強化の評価改善と議員自ら研修テーマを抽出する。第14条は政策立案及び政策提言についてを検討しました。
- ②議会モニター制度については、議会サポーター制度として既に行っている岩倉市に行政視察を行い意見交流をしました。その中で、モニター募集に対して人が集まらない。岐阜県20市のうち高山市と郡上市のみが、モニター制度を行っており高山市は廃止を含め検討中、郡上市は、再開の予定は無く残りの市は予定も無いので協議終了としました。
- ③議員のなり手不足についての対策として、議員報酬の改定と若い人、女性の参加を含め参加しやすい議会にするために検討課題としました。
- ④議員定数については、平成30年12月議会の委員会で決められた申し送りを踏まえ、土岐市の人口が5万5千人を切った時点で検討をすることになっていたため、議題として取り上げました。議員報酬を上げるためにも定数を減らすべきとの意見も有り、慎重な対応が必要とのことで、令和7年12月末までに結論を出すことになりました。

令和6年度 議会改革特別委員会委員長 安藤 学

広報広聴特別委員会

今年度の一つ目の活動は、昨年に続き議会報告会を中学校6校区で実施しました。今回は市民の皆さんと意見交換ということで、グループに分かれて、テーマに沿って皆さんの意見を聞くことができ、大変参考になりました。若い世代や女性の参加が少なく、今後の課題となりましたが、今後もこのような形で議会報告会と意見交換会を実施致しますので皆さんの参加をお待ちしております。

二つ目の活動は、議会だより編集委員会を当委員会に吸収し編集部会として、議会だよりを編集しております。市民の皆さんから「読んだことない」「見ても面白くない」など多くの意見を頂いており、皆さんが見たくなるような議会だよりになるように、表紙の写真を市内の高校に赴き生徒さんが撮った写真を掲載させていただいております。中身も他市の先進的な事例を視察に行き勉強させていただきました。今後も議会だよりを皆さんが見たくなるような紙面になるよう、目指してまいります。



令和6年度 広報広聴特別委員会委員長 北谷 峰二